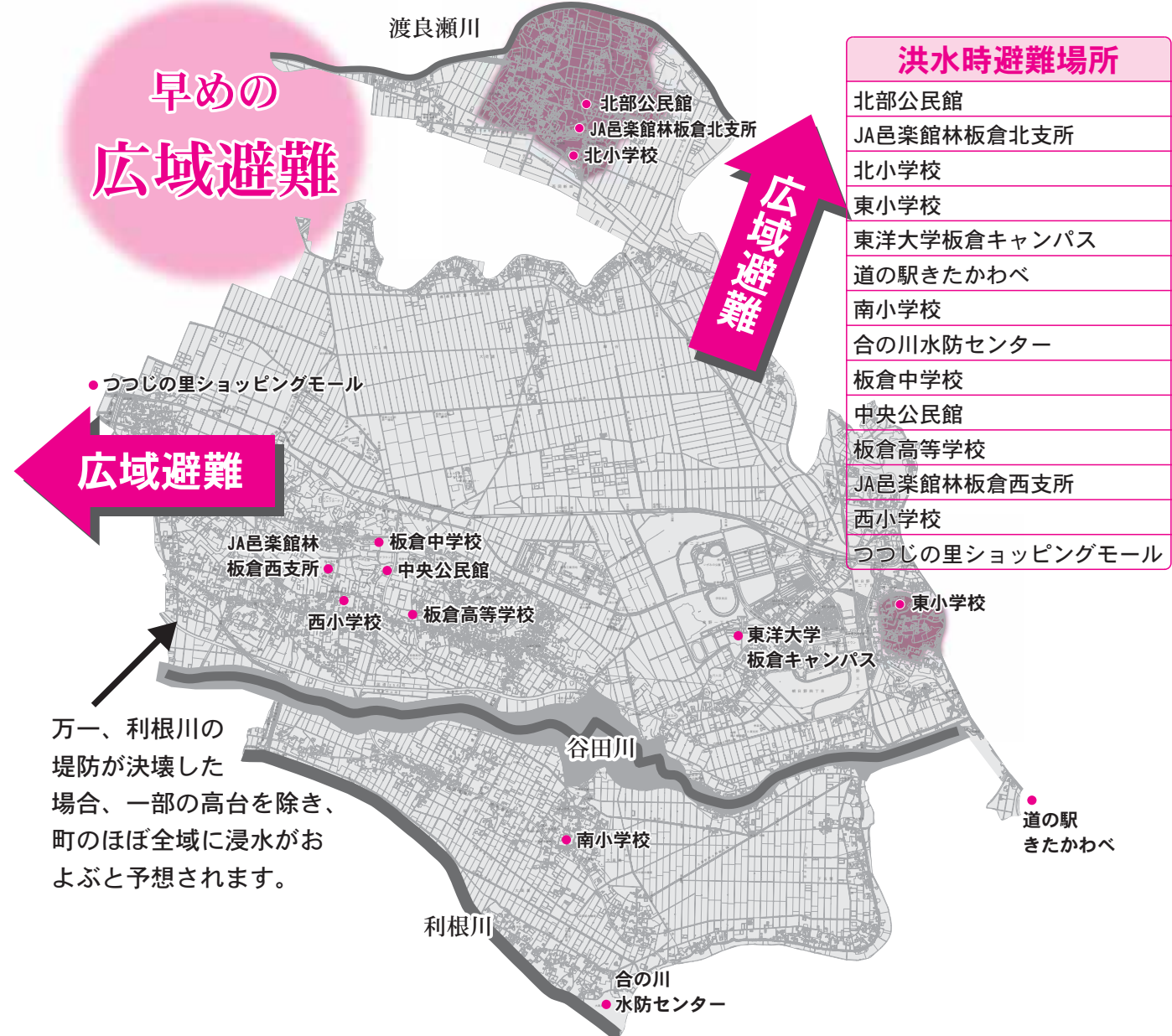


早めの 広域避難



洪水時避難場所	
北部公民館	
JA邑楽館林板倉北支所	
北小学校	
東小学校	
東洋大学板倉キャンパス	
道の駅きたかわべ	
南小学校	
合の川水防センター	
板倉中学校	
中央公民館	
板倉高等学校	
JA邑楽館林板倉西支所	
西小学校	
つつじの里ショッピングモール	

万一、利根川の堤防が決壊した場合、一部の高台を除き、町のほぼ全域に浸水がおよぶと予想されます。

命を守る地域防災

板倉町民に求められる避難行動



利根川と渡良瀬川の治水が進み、昭和22年に発生したカスリーン台風による水害発生当時に比べると、堤防は高さも厚さもより強化されました。しかし、近年各地で予想できない大きな災害が発生している状況を見ると、町民の一人ひとりに命を守るための避難行動が求められるものとなっています。6月25日(日)に実施される板倉町総合防災訓練、住民避難訓練を通して、板倉町の特徴を踏まえながら、命を守る地域防災を実現するために、今一度、自分自身ができる避難行動を考えてみましょう。

板倉町総合防災訓練

- 実施目的 いつ大きな災害が発生してもおかしくない状況のなかで、町民の防災意識の高揚と自主防災組織のさらなる防災力強化を図ることを目的として実施します。
- ▼実施日 6月25日(日)
- ▼住民避難訓練 午前7時～(雨天決行)
- ▼自主防災組織の連絡網により、「避難勧告」の発令を伝達します。みなさんは、行政区指定の避難所へ避難してください。
- ※みんなで声を掛け合って、避難訓練に参加しましょう
- ▼会場訓練 午前9時30分～(小雨決行) 場所 板倉中学校校庭
- ※初期消火訓練、水防工法、炊き出し配給訓練等を行います。

命を守るために求められる広域避難

地域防災への取り組み 町では、平成24年度から行政区ごとに、地区防災講習会を開催しています。犠牲者ゼロを目指して、防災講習会や避難訓練等を毎年行うことで防災への意識を高め、もしものときに、率先して早めの避難行動を起こし、多くの人がその行動を共にするようになることが重要です。

広域避難に向けて 利根川や渡良瀬川の氾濫により堤防が決壊するなど大規模な洪水が発生した場合は、町内での避難生活は極めて不自由な状況が予想されます。避難の考え方の一つとして、災害の危険がある地域から離れる「広域避難」があります。例えば、町外の浸水しない地帯へ避難することがあります。

「避難準備・高齢者等避難開始」の発令情報時点など早めのタイミングで避難行動を開始することが重要です。なお、車での避難は、あくまでも早い段階での広域避難や、お年寄りや身体が不自由なかなたなどの要支援者世帯のみに限られます。命を守るために、板倉町外への避難を勇気をもって決断しましょう！

アンケートにご協力ください！ 広域避難に係る住民意識調査

日本各地で集中豪雨による水害が発生している状況を見ると、いつ利根川や渡良瀬川が氾濫し、板倉町に大きな被害をもたらすかわかりません。町内のほぼ全域が浸水区域となる板倉町では、県や市町村の境界を越えた広域避難が有効であると考えています。洪水発生時に、ひとりの犠牲者も出さない災害に強いまちづくりを推進するため、行政区を通じて住民意識調査を実施します。

- ◆調査票配布：6月1日～
- ◆調査票回収：6月18日までに区の役員にご提出ください。

※家族で話し合っ、ご記入ください。